

最先端の農業基地見学ツアー



新鮮・安全トマトの試食ができます



■多様な地産エネルギーの活用



スマートアグリ生産プラント

平成 25 年度 農林水産省「強い農業づくり交付金」採択事業



新千歳空港から 車で15分～20分



JFE

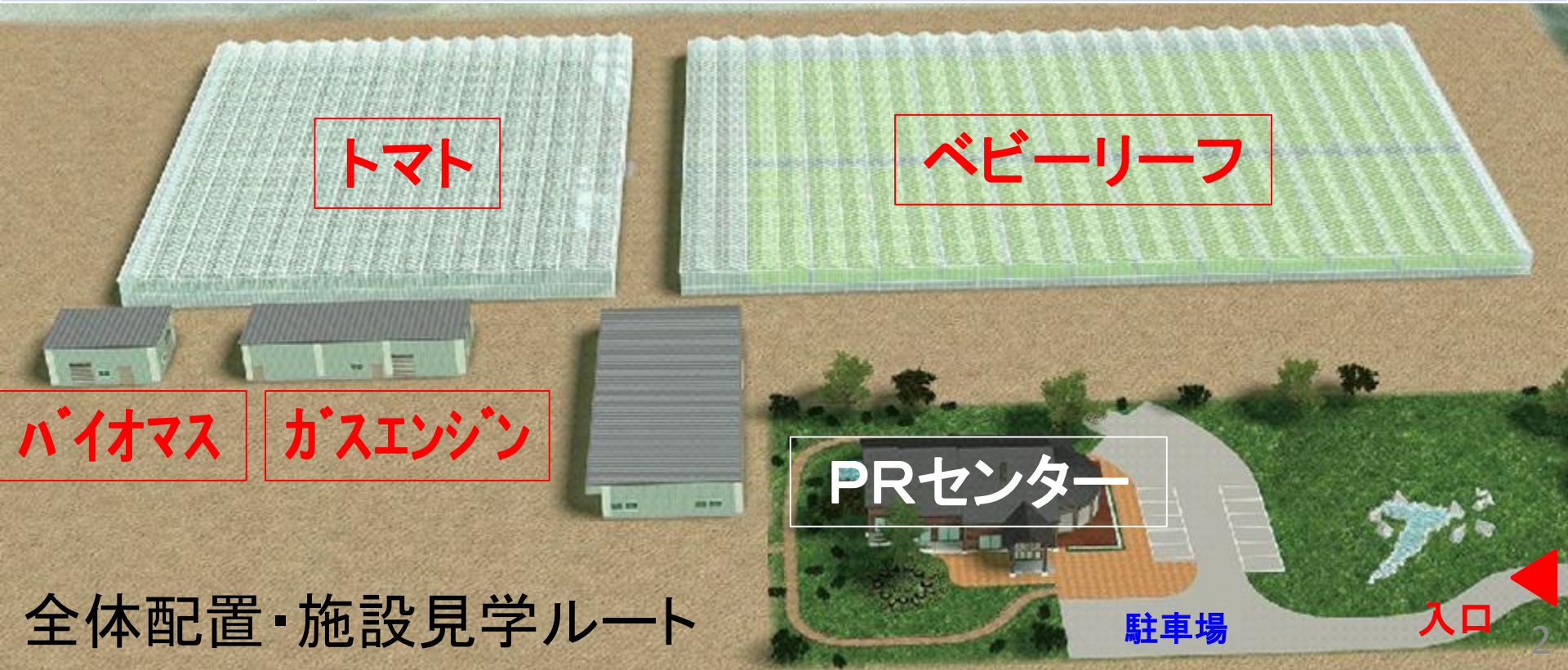
トイレ使用できます

お問合せ

JFEエンジニアリング(株)北海道支店
札幌市中央区北1条西3丁目2番地
井門札幌ビル4階

TEL 011-271-2211 FAX 011-271-2218

施設見学時間	時間	場所	見学内容
09:00 ~ 09:40	10分	PRセンター	施設概要説明(映像)
10:00 ~ 10:40	8分	リーフ棟	ベビーリーフ(水耕栽培)
11:00 ~ 11:40	6分	トマト棟	トマト(水耕栽培)
13:00 ~ 13:40	3分	ガスエンジン	トリジェネレーション(発電・熱・CO2 利用)
14:00 ~ 14:40	3分	バイオマス	バイオマス(熱・CO2 利用)
15:00 ~ 15:40	10分	PRセンター	質疑応答、試食(トマト)
16:00 ~ 16:40	施設見学時間は 約 40 分 バスの乗降を含め 約 1 時間 を予定		



全体配置・施設見学ルート

Jファーム苫小牧 会社概要

- 社名：Jファーム苫小牧 株式会社
- 代表者：代表取締役社長 木村 康一
- 資本金：500万円
- 出資者：農業生産法人
株式会社アド・ワン・ファーム 51%
JFE エンジニアリング 49%
- 事業内容：農産物の生産および販売
- 設立：2013年11月28日

環境データ
(天候、ハウス環境など)

栽培環境制御
栽培種に最適な環境を創出

光 温度 CO₂ 養分

トマト栽培棟
(広さ:0.5ha、軒高:5m)

ベビーリーフ栽培棟
(広さ:1.0ha、軒高:4m)



バイオマスボイラ棟

エネルギー棟

出荷・管理棟



敷地内にPRセンターを併設。広く見学者を受け入れ、当社独自のスマートアグリシステムを国内外に発信!

見学開始時間	所要時間	見学場所	見学内容
09:00 ~ (40分)	10分	PRセンター	施設概要説明(映像)
10:00 ~ (40分)	8分	リーフ棟	ベビーリーフ(水耕栽培)
11:00 ~ (40分)	6分	トマト棟	トマト(水耕栽培)
13:00 ~ (40分)	3分	ガスエンジン	トリジェネレーション(発電・熱・CO ₂ 利用)
14:00 ~ (40分)	3分	バイオマス	バイオマス(熱・CO ₂ 利用)
15:00 ~ (40分)	10分	PRセンター	質疑応答、試食(トマト)
16:00 ~ (40分)	施設見学時間は 約 40分 バスの乗降を含め 約 1時間 を予定		

Jファーム 苫小牧 施設概要

PRセンター	施設説明室 48名対応可能
	休憩所:30名対応可能 (室内)
	休憩所:16名対応可能 (外部)
出荷管理棟	事務所、職員休憩所、出荷施設
リーフ棟	施設面積1.0ha. 東西127m×南北80m
トマト棟	施設面積0.5ha. 東西 72m×南北80m
エネルギー棟	ガスエンジン棟、バイオマスボイラー棟

施設見学時間は 約 40 分 バスの乗降を含め 約 1 時間 を予定
PRセンター ⇒ リーフ棟 ⇒ トマト棟 ⇒ エネルギー棟(2) ⇒ PRセンター

トイレ

PRセンター	男性用×3(小用×2、大用×1)、女性用:2
出荷管理棟	男性用×1、女性用×1、男女兼用×1 (外部)
	男性用×5(小用×3、大用×2)、女性用×3 (室内)

実業家 朝青龍氏

Jファーム苫小牧を視察



角界引退後、モンゴルで多角的に事業を営む朝青龍氏(本名ドルゴルスレンギーン・ダグワドルジ)は、当社のスマートアグリ技術に注目しており、2月28日緊急来日。Jファーム苫小牧を視察しました。「これを持っていたんだ!」と到着した朝青龍氏は

興奮気味に第一声。トマトやベビーリーフの栽培状況やガスエンジン、バイオマスボイラーなど、プラントの技術説明に熱心に耳を傾け「農業で祖国に貢献する事が自分の使命」と話していました。



左から 山川常務、梅メガテック長尾会長、朝青龍氏、Jファーム苫小牧藤本村社長、朝青龍トレーディング部長/バヤルサイハン社長



モンゴルに美味しく、安全な作物を



モンゴルの農産物は大半が中国などからの輸入品ですが、間違いなく日本の野菜やフルーツが一番美味しく安全安心です。すぐにでも日本の技術を導入し、自国で栽培すべきです。JFEエンジはウランバートル市民の皆が喜んだ「太陽機」を施工した会社。エネルギー利用技術を駆使した農業プラントも素晴らしい!モンゴルにある豊富な自然エネルギーを使った農業をJFEエンジンと検討したいと考えています。



4月より新設された営業部で、国内外にスマートアグリプラントや栽培ノウハウなどの売り込みを開始します。モンゴルは北海道よりも北に位置し、冬は極寒で農作物が育ちにくい所。過年栽培のスマートアグリプラントが活躍します。

今後、提案活動を進め、大金庫を目指します。

スマートアグリ事業部 営業部長 広常 雅也 (専任)

設備概要

(1)敷地面積	38,319m ²
(2)施設面積	17,532m ² <input type="checkbox"/> トマト棟 5,760m ² (72m×80m) <input type="checkbox"/> 出荷管理棟 805m ² <input type="checkbox"/> リーフ棟 10,192m ² (127.4m×80m) <input type="checkbox"/> PRセンター 434m ² <input type="checkbox"/> エネルギー棟 341m ²
(3)温室構造	ダッチライト型鋼製パイプ造耐衝撃フィルム葺
(4)年間生産量	<input type="checkbox"/> トマト・・・150トン <input type="checkbox"/> リーフ・・・115トン
(5)環境制御装置	Priva社Connext
(6)栽培方式	<input type="checkbox"/> トマト・・・ロックウール型養液栽培 <input type="checkbox"/> リーフ・・・NFT養液栽培
(7)ガスエンジン	JFE-Waukesha製 出力230kW



Jファーム苫小牧株式会社

〒059-1362
 北海道苫小牧市字柏原6-312
 TEL: 0144-84-1850 FAX: 0144-84-1852